

事業群評価調書(令和2年度実施)

基本戦略名	8 元気で豊かな農林水産業を育てる	事業群主管所属	水産部水産経営課
施策名	(1) 水産業の収益性向上に向けた取組の強化	課(室)長名	渡邊 孝裕
事業群名	① 経営改善計画の策定及び実行による漁業者の経営力強化	事業群関係課(室)	漁政課
	③ しごと創出のための雇用型漁業の育成		

1. 計画等概要

<p>(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文)</p> <p>①収益性の高い漁業経営体を育成するため、漁協等関係団体、市町、県が連携し、個々の漁業者と向き合いながら経営改善に向けた計画づくりやその具体化への指導・支援を行います。また、経営指導にあたる関係機関のスキルアップや指導者の養成を進め、漁業者の経営力強化の推進に繋がっていきます。</p> <p>③漁村地域の重要な雇用の場となっている定置網漁業等について、生産設備の改善と加工・流通・観光等を一体的に取り組む優良な経営モデルづくりを進め、離島等での安定した雇用の場の確保を推進します。</p>	<p>(取組項目)</p> <p>i) 経営改善計画の策定及び実行による漁業者の経営力強化(事業群①)</p> <p>ii) しごと創出のための雇用型漁業の育成(事業群③)</p> <p>iii) 漁業者と浜を支える漁協の組織と機能の強化(事業群①)</p>
--	---

事業群	指標		基準年	H28	H29	H30	R元	R2	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	①-1漁業所得300万円以上に達した経営体数	目標値①	/	—	—	711経営体	—	790経営体	790経営体(R2)	
		実績値②	594経営体(H25)	—	—	586経営体	—	/	進捗状況	
		②/①(達成率)	/	—	—	82%	—	/	遅れ	
①-2経営改善に向けた取組により、経営改善・強化を図った漁業者数(経営改善計画策定数)(累計)	指標		基準年	H28	H29	H30	R元	R2	最終目標(年度)	
	目標値①	/	25件	59件	93件	127件	161件	161件(R2)		
	実績値②	—	27件	62件	140件	217件	/	進捗状況		
	②/①(達成率)	/	108%	105%	150%	171%	/	達成		
③雇用確保、雇用条件等処遇改善を実施した経営体数(累計)	指標		基準年	H28	H29	H30	R元	R2	最終目標(年度)	
	目標値①	/	7経営体	14経営体	21経営体	28経営体	35経営体	35経営体(R2)		
	実績値②	—	7経営体	17経営体	25経営体	32経営体	/	進捗状況		
	②/①(達成率)	/	100%	121%	119%	114%	/	順調		

2. 令和元年度取組実績(令和2年度新規・補正は参考記載)

事業番号	取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(単位:千円)			事業対象	事業概要 令和元年度事業の実施状況 (令和2年度新規・補正事業は事業内容)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				令和元年度事業の成果等	中核事業	
				H30実績	うち 一般財源	人件費 (参考)			指標	主な目標	H30目標	H30実績			達成率
				R元実績							R元目標	R元実績			
R2計画	R2目標	R2実績													
1		新水産業経営力強化事業	H30-R2	82,872	81,706	27,902	漁業者等	浜プラン・地域別施策展開計画を基軸として、H27以降に経営指導・支援体制で育成した収益性の高いモデル型経営体の取組事例の普及を進め、所得向上と優良経営体育成の加速化を図るとともに、漁家所得向上、安定経営を目的とした漁協や市町等が行う漁村の生産基盤整備や活性化の取組、漁協の経営力強化を併せて支援する。	活動指標	個人支援件数(件)	45	31	68%	●事業の成果 ・所得向上を目指す漁業者へ35件の機器整備の支援を行った他、漁協等が実施する9件の生産流通基盤整備について支援した。国TPP事業等の活用推進や水揚げ状況の悪化により目標は達成しなかったが、漁業者の経営計画は77件策定しており、次年度以降に計画に寄与を推進した。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与・本事業や国TPP事業の積極的な活用推進により漁業者の経営改善・強化に寄与した。	○
				86,062	76,969	27,044					45	35	77%		
				88,544	76,544	27,115					70	63	90%		
		水産経営課	根拠法令	—	70	算定中	—								
2	取組項目 1	水産業所得向上支援事業	H30-R2	13,286	8,245	34,678	市町、漁協、漁業者等	漁業者の経営強化のために関係機関が連携して経営指導・支援を行うとともに、経営感覚・意識を醸成する機会を提供しながら、優良漁業経営体の育成を図り、漁業所得向上を推進する。	活動指標	経営計画策定数(計画)	140	199	142%	●事業の成果 ・経営指導・支援の推進母体となる「水産業経営支援協議会・地域作業部会」や経営指導の専門家で構成された「経営指導サポートセンター」といった体制を中心にして、個々の漁業者を対象に具体的な個別経営指導を実施した結果、経営計画策定数は目標以上の成果を得た。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与・本事業により新水産業経営力強化事業や国TPP事業の要件となる経営計画の策定を進めた結果、漁業者の経営改善・強化に寄与した。	○
				11,599	7,075	38,975					140	243	173%		
				13,553	7,507	39,078					70	63	90%		
		水産経営課	根拠法令	—	70	算定中	—								
3		漁業経営継続支援事業費	(R2補正) R2	/	/	/	漁業者(個人及び法人)	新型コロナウイルス感染症の影響を克服するために、感染拡大防止対策を行いつつ、販路回復・開拓や事業継続・転換のための機械・設備の導入や人手不足解消の取組を総合的に支援することによって、漁業者の経営の維持を図る。	活動指標	漁業者支援件数(件)	/	/	/	—	○
				/	/	/					302	/	/		
		水産経営課	根拠法令	—	52,365	0	13,558	根拠法令	—	成果指標	令和3年度までに利益又は売上が増加する漁業者の割合(%)	90	/		

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

<p>i 経営改善計画の策定及び実行による漁業者の経営力強化</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>スルメイカ等の水揚げの悪化や漁業経営体全体の減少の影響により「漁業所得300万円以上に達した経営体数」の目標値は達成できなかったが、経営体全体に占める所得300万円以上の割合は基準年(H25)より増加(8%→10%)したことにより優良経営体の育成は進んだが、漁業資源の変動などにより漁業者の経営状況は厳しい状況にある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>・優良経営体育成を図るためには、経営計画を策定して取組を実施している漁業者に対するフォローアップを強化し、水揚げ状況を把握するとともに目標とする所得の達成のために必要な指導を行い、きめ細やかな支援をしていく。</p> <p>・経営計画を策定した漁業者の取組状況を成功事例としてモデル化し、個人情報に配慮しながら情報発信に取り組み、事業成果の浸透や、成果波及による優良経営体育成の加速化を図っていく。</p>
<p>ii しごと創出のための雇用型漁業の育成</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>・積極的な県や国の事業活用により、生産設備の導入や販路拡大等による経営改善、雇用拡大等に取り組み、目標達成に向けて順調に進めてきているが、更なる経営改善・雇用拡大等に向けて、関係機関と連携して各経営体が作成した計画に基づく取組のフォローを継続するとともに、成果が出ている取組の普及を図る必要がある。</p> <p>・特に地域の雇用の場となっている定置網漁業については、近年の台風大型化や急潮の発生等の気象変化による漁具破損や休漁に備えた技術改良を進め、経営の育成強化を進めていく必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>・資源管理と収益性の両立を図るために必要な生産設備等の導入を支援する国の令和2年度当初予算『水産業成長産業化沿岸地域創出事業』を活用しつつ、漁村地域における一層の安定的な雇用の場の確保に繋がる支援をしていく。</p> <p>・定置網漁業については、気象変化に対応した地域の経営モデルづくりを確立していくことを併せて行い、その経営モデルを普及することで雇用型漁業経営の体力強化を図っていく。</p>
<p>iii 漁業者と浜を支える漁協の組織と機能の強化</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>令和元年度については、各指標の目標数値を達成し、令和2年4月1日は諫早湾地区3漁協の合併に繋がった。しかし、漁協を取り巻く環境は、正組合員の減少(H30/H20:60%)や事業総利益の減少(H30/H20:90%)等厳しい状況が続いており、経営基盤強化が重要な課題である。漁村経済の中核的組織として、組合員(漁業者)の経営と生活に対する指導的役割を担う漁協には、引き続き、漁業者の多岐に渡る要求に応えるため、より実効性のある経営基盤強化が求められている。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>課題解決に向けて、中小企業診断士等の専門家の意見も取り入れながら、より実効性のある合併計画等を策定することで、漁協経営の改善・効率化のために漁協合併を推進し、漁協合併等検討地区数を令和2年度においては13地区に拡大するよう取り組んでいく。</p>

4. 令和2年度見直し内容及び令和3年度実施に向けた方向性

事業 番号	取組 項目	事務事業名	令和2年度事業の実施にあたり見直した内容	令和3年度事業の実施に向けた方向性		
		所管課(室)名	(令和2年度の新たな取組は「R2新規」等と記載、見直しが無い場合は「-」と記載)	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
1		新水産業経営力強化 事業	—	②	経営計画を策定して経営強化の取組を実施している漁業者に対するフォローアップをさらに強化し、目標とする所得の達成のために引き続き必要な指導を行っていく。 また最近では、漁業情報がデータ化され、ICT技術を活用した機器等が開発されており、これら機器を導入して経営強化の成果を挙げた事例がある。そこで令和3年度以降は、変化に強く収益性の高いスマートな『次世代型水産業』を展開し、革新的技術の普及を行っていく。 これと連動して、育成した漁業者が漁業生産を持続的に行えるように、生産活動の下支えとなる漁協協同組合等の共同利用施設の整備・機能改善を併せて行っていく。	改善
		水産経営課				
2	取組 項目 i	水産業所得向上支援 事業	受講者アンケートの結果に基づき、経費削減に関する講義を増やす等、カリキュラムの見直しを行った。	②	事業期間は平成30年度からの3年間であり、引き続きモデル型経営計画の策定を進めていく。また、取組の成果等を把握しながら、優良事例を地域へ波及させることで経営指導のさらなる加速化を進めるとともに、経営塾事業では、カリキュラムを経営安定に直結させるように常に見直ししていく。またこれまで、ICT技術を活用した機器等を導入して経営強化の成果を挙げた事例があることから、今後は変化に強く収益性の高いスマートな『次世代型水産業』を展開し、革新的技術の波及も推進していく。	改善
		水産経営課				
3		漁業経営継続支援事 業費	R2補正	—	—	終了
		水産経営課				
5	取組 項目 ii	定置網漁業育成強化 事業費	R2新規	②	令和2年度から更に地域展開を進め、漁村地域で重要な雇用の場となっている定置網漁業について、関係機関と連携しながら各地域における海域及び操業形態に応じた経営モデルを確立することで、経営改善による新たな雇用の創出や雇用条件の向上を図り、国の『水産業成長産業化沿岸地域創出事業』の活用につなげていく。	改善
		水産経営課				
6	取組 項目 iii	地域を担う漁協機能強 化支援事業費	経営不振漁協が、中小企業診断士等の経営診断を踏まえた経営改善計画を策定する場合の経費への補助及び合併検討組織が、中小企業診断士等の視点を加えた実行性のある合併計画策定に要した経費への補助をメニューとして追加した。	②⑤	地域に貢献する漁協の機能強化を図るため、引き続き、県・市町・系統団体等が一体となり、令和2年度から追加した事業も活用することで、外部の専門家の客観的・効果的な意見を取り入れながら、今まで以上に経営不振漁協の財務改善や組織再編等による経営基盤強化等に向けた取り組みを支援していく。	改善
		漁政課				
7		漁協向け新型コロナウ イルス感染症緊急対 策支援事業費	R2補正	—	—	終了
		漁政課				

注:「2. 令和元年度取組実績」に記載している事業のうち、令和元年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点